

令和5年度 共同生活援助事業（介護サービス包括型）
グループホーム「ラルクホーム」事業計画

1 概要

- ・事業所の名称及び定員 ラルクホーム（共同生活住居5か所）
【定員12名、現員8名（令和5年3月1日現在）】
- ・事業所の所在地 名古屋市天白区高島2丁目701番地
- ・事業の目的 地域で家庭的な雰囲気の下、自立した地域生活を送れるよう支援する。
- ・事業所開設年月日 平成13年5月1日
- ・障害者支援施設福寿荘によるバックアップ体制
- ・共同生活住居5か所の名称、所在地
名古屋市天白区高島2丁目701番地 オデッセイ島田
B棟（女性）3か所 定員7名 （住居名）みかーさ、れいーる、ふるーる
C棟（男性）2か所 定員5名 （住居名）ばぐーす、ぷらっと

2 運営方針・重点事項

- ・利用者の権利擁護に努め、地域において自立した生活をおくれるよう日常生活上の各種支援を適切に実施する。
- ・利用者の障害程度の重度化や高齢化に対応し、適切な支援を実施する。
- ・発生して4年目となる新型コロナウイルス感染症はじめ感染防止対策に努め、感染症法による5類移行後も健康的な生活を送れるよう支援する。
- ・火災予防、防災対策に取り組み、利用者が安心安全に生活できるよう支援する。
- ・関係機関、家族等と密接な連携のもとで支援に努めるとともに地域との交流を深める。
- ・ラルクホーム開設20年余を経て、利用者の加齢により健康状態（精神面）、生活面の変化から利用者への支援状況が利用開始時と大きく変化しており、継続した利用が困難な事例が発生している状況にある。

今後、開所当時のグループホームのサービス供給量が少ない状況下において福寿荘からの移行利用を役割とした設置目的、開設であったことを踏まえて、現在ホーム利用者の障害程度が当時と比べて重度化していること、さらに重度化に伴い住居に消防設備基準によるスプリンクラー設備が必要となる場合がある等の各種の課題があり、今後の事業の検討が必要と思われる。

3 各種支援

(1) 日常生活支援

- ・自立した生活 地域において自立生活を送るうえで必要となる支援を行う。また、生活を送る上で必要な入浴・排せつ等の身辺処理の助言・介助を行なう。

